

指定管理者制度導入施設 管理運営状況(令和6年度)

[illegible]

指定管理者管理運営状況（令和3年度～令和6年度）

指定管理者管理運営状況

年度	指定管理者	指定管理期間
R6年度	公益財団法人 滋賀県身体障害者福祉協会	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
R5年度		
R4年度		
R3年度		

成果情報	R3	R4	R5	R6	備考
利用可能日数(単位:日)	254	281	282	278	
年間利用人数(単位:人)	32,591	44,341	51,727	57,550	
1日あたり利用人数(単位:人/日)	128.3	157.8	183.4	207.0	
年間収入(単位:円)	150,254,268	150,286,564	151,649,340	157,816,379	
1日あたり収入(単位:円/日)	591,552	534,828	537,764	567,685	

収入・支出実績 (単位:円)	R3	R4	R5	R6	備考
収入①	150,254,268	150,286,564	151,649,340	157,816,379	
施設利用収入	1,033,410	1,082,540	1,537,940	1,561,495	
指定管理料	149,092,000	149,092,000	149,932,000	156,004,007	
その他収入	128,858	112,024	179,400	250,877	
支出②	147,927,712	148,049,899	149,945,365	146,683,054	
人件費	93,477,923	81,585,316	91,651,558	86,644,461	
施設管理費	47,117,699	57,676,993	49,478,732	50,182,663	
事業費	7,332,090	8,787,590	8,815,075	9,855,930	
収支 ①-②	2,326,556	2,236,665	1,703,975	11,133,325	

モニタリング実施状況(令和6年度)

報告書の別	内 容
年度報告	年次事業報告書(令和7年4月報告)
月例報告	月例業務報告書(毎月報告)
実地調査	令和6年9月19日、令和7年3月18日実施
実地調査等の概要	【令和6年9月】 指定管理者モニタリングマニュアルに基づき、実地調査を実施 安全の確保、法令等の遵守、利用の拡大・サービスの向上その他の管理業務の効果の向上を図る取組、管理業務を適切に実施するための体制等について、書類や従業員ヒアリング等により確認し、適正に実施されていることを確認した。 【令和7年3月】 令和6年9月と同様に実地調査を実施 安全の確保、法令等の遵守、利用の拡大・サービスの向上その他の管理業務の効果の向上を図る取組、管理業務を適切に実施するための体制等について、書類や従業員ヒアリング等により確認し、適正に実施されていることを確認した。 ハラスメント防止措置および関係規程の整備の徹底するよう依頼。 【その他】 年次事業報告書、月例業務報告書により、管理業務が適正に実施されていることを確認した。

利用者ニーズの把握

手法・実施時期	令和7年1月4日～2月9日
実施内容	利用者へのアンケート調査を実施(回答者68人)
調査結果	職員の対応や指導に関する質問や施設環境の質問、総合的な評価に対する肯定的回答(「とてもそう思う」+「まあそう思う」)は無回答を除くと9割以上となっており、前年度と同様に高い評価となっている。 【アンケートの主な声】 ・公共交通機関の不便さ、障害者福祉センターから滋賀大学病院前までの送迎の希望。 ・プール利用者のマナーについての指摘。 ・事業に対する要望や利用時間帯に対する要望。

工夫・成果のあった点、運営上の課題

【工夫・成果のあった点】

・国の振興事業を活用してトレーニング室の器具を更新したことにより、利用者が前年度より約1,700名の増加となった。また、今までプールだけを利用されていた方もプール改修工事中にトレーニング室の使いよさを知っていただいたことで、利用者増に繋がった。

・修繕によりプール床暖房の水漏れが改善した。また、プールの照明をLED化したことにより、明るくなり利用者から喜ばれている。

・第4期指定管理の重点項目～事業の5本柱～である「就学前の障害児への指導」と「大学等との連携」として“親子ふれあい広場”を実施した。東近江市のびわこ学院大学の体育館を使用し、全県域の療育教室の通園児を対象として案内したことで、長浜市や大津市和邇など遠方からも参加があった。大学生のボランティアの協力も得られ、参加者の介助者からは「安心して参加できてありがたいイベントです」という声をいただいた。

【運営上の課題】

・近年災害が多く、福祉避難所に指定されている当該施設の喫緊の課題として、アリーナ特定天井の耐震工事がある。施設から要望もあるが、併せて水銀灯のLED化も必要であり、工事の時期の選定等課題である。